



7



6



5



3



2



1

1. 子どもたちに大人気の「ころう君」 2,3. 子どもから大人までたくさんの方が楽しんだ  
4. 暗がりに浮かび上がった巨大な地上絵・万華灯の全景 5,8. メイン会場の菊池市民広場に設置された竹灯籠 6. 正観寺の竹灯籠 7. 横町の足湯にも設置された



8



4

## 竹灯籠でおもてなしの灯り

ほの宵まつりは11月3日から18日の土・日曜日、菊池温泉街や菊池神社、菊池市民広場などで行われ、竹灯籠からこぼれるほのかな光が菊池のまちを幻想的に彩りました。

このイベントは、菊池を訪れる人々を優しい灯りでもてなそうと菊池観光協会が企画したもので今年で2回目。数百本以上の竹を使い作成された灯籠が、騎馬像周辺や市街各地に設置されました。

22日には菊池市民広場をメイン会場にフィナーレイベントを開催。特設ステージでは、菊池市出身の作曲家・矢賀部竜成さんや、縁結びデュオ「Frame」によるミニライブがあり、会場を盛り上げました。

会場では地元特産品を使った鍋料理「地貝鍋」も振る舞われ、来場者は舌鼓を打ちながら体を温めていました。

## 万華灯で縁結び

約3万本のろうそくの明かりで巨大な地上絵をつくり出す「万華灯」は11月23日、菊池公園多目的グラウンドで開催されました。

11回目となる今回のテーマは

「縁結灯」。人と人の縁を大切にし、心と心を結ぶイベントにしたいという思いが込められました。

午前中から行われた準備には、子どもから大人まで多くのボランティアが参加。紙コップに一つ一つ手作業でろうそくを入れ、縁結びをモチーフに描かれたチョウ結びの下絵に並べていきました。

夜の帳が下り始めた午後5時30分、点火式が行われると、来場者が一斉に点火を開始。ろうそくのほのかな明かりが次第に広がり、巨大な地上絵を幻想的に描き出すと、訪れた人々を魅了しました。

会場の中央では22日に引き続き縁結びデュオ「Frame」のライブなどもあり、音楽とトークで会場を盛り上げました。また、鞠智城のマスクットキャラクター「ころう君」も登場。「ころう君体操」で子どもたちとスキンシップをとったり記念撮影したりするなど、来場者と一緒に楽しいひと時を過ごしました。24日の片付けでは、無料温泉入浴券などが当たる「お宝探し」もあり、来場者は楽しみながら片付けに参加しました。